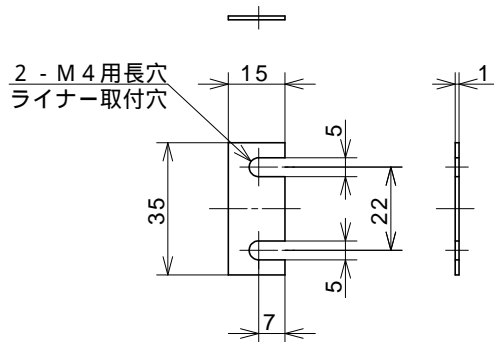


フラット金具

【注意1】最小扉間寸法は40mm以上になります。



ライナー

【注意1】扉が閉鎖した際、戸先扉が戸当り枠側の戸当りゴム等に当たって、戸袋側に押し返されて「へ」の字の状態になり、フラット金具がロックしない場合に使用してください。
 詳細は、『MFC-1B型フラット金具取付要領図』の「ライナー取付方法」をご参照ください。

付 属 部 品

フラット金具 取付ネジ	2個	M4×10 ナベ小ネジ 平座金付
	2個	M4×30 ナベ小ネジ バネ座金付
ライナー	1枚	
施工 / 取扱説明書	1枚	

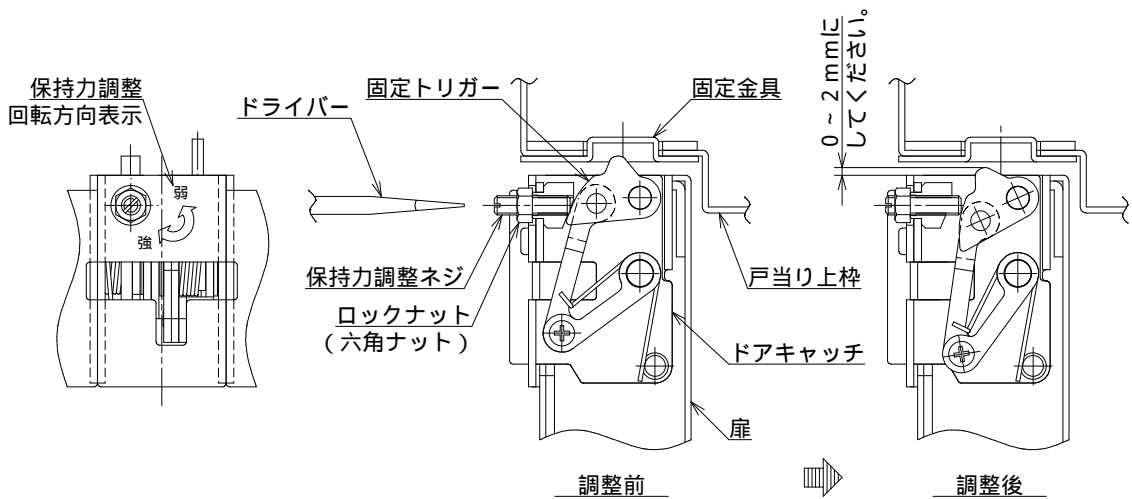
注 意 事 項

1. ドアキャッチを併用した場合は、下記の注意事項に従って、戸当り上枠に取り付けた固定金具と扉に取り付けたドアキャッチの固定トリガーとが保持しないように調整をしてください。

ドアキャッチとフラット金具併用時の注意事項

- (1) ロックナットを緩めて、固定トリガーがドアキャッチの上面より0～2mmとなるまで、マイナスドライバーで保持力調整ネジを左（回転方向表示“弱”方向）に回してください。
- (2) 調整後は必ずロックナットを締め付けて、保持力調整ネジを確実に固定してください。
- (3) 調整ネジを固定した後は、必ずA扉（吊元扉）とB扉（戸先扉）が一体となって開閉できることを確認してください。

ドアキャッチの保持力を調整せずに、フラット金具を取り付けてご使用になった場合は、扉の開閉作動への支障や機器の故障の原因になりますので、必ず保持力の調整を行ってください。



- 【備考1】このフラット金具は、戸先扉DW750mm未満、DH1800mm以上の時にご使用ください。
 （但し、扉の総面積が3㎡以下にてご使用ください。）
 吊元扉DW300mm以上でご使用ください。
- 【備考2】このフラット金具は、扉（折り戸）の開き勝手（右開き・左開き）に合わせて、どちらにでもご使用になれます。
 その際、必ず戸先扉側に取り付けてご使用ください。
- 【備考3】本図は「ロック状態」を表示しています。
- 【備考4】形状・構造及び取付穴位置等がMFC-1A型フラット金具と異なるため、互換性はありません。

MFC-1B型フラット金具 外形図

尺 度	1/2	承 認	田村 2004.9.27	検 図	三枝 2004.9.27	設 計	鈴木 2004.9.27
--------	-----	--------	-----------------	--------	-----------------	--------	-----------------

ニッケイ株式会社

図番 AF-31534-a